



町議会だより Nagayo Town Assembly Newsletter

みんなのギカイ

no. 172

令和2年1月15日発行 長崎県長与町議会

12月
定例会

災害復旧・定林橋設計に追加補正 ……	2
災害対策など 12人が一般質問 ……	5
第7回議会報告会を開催 ……	19



明けましておめでとうございます

人事院勧告に基づく職員給与の 改定・災害復旧工事費など

全会一致
可決

一般会計補正予算(第3号)

令和元年第4回定例会を12月3日から13日まで開き、10議案を審議、全議案を可決しました。

一般会計予算に1億3362万7千円を追加補正し、一般会計総額を130億8050万円としました。

主な質疑

災害復旧

問 岡郷大平地区の災害復旧工事箇所はどのような状況か。

答 8月27日、28日の豪雨で、長さ7メートルに渡り畑の法面が崩落した。

定林橋設計

問 嬉里郷の定林橋側道橋の測量設計は、当初予算でも2000万円計上している。新たに約1400万円の費用がかかるのか。

答 当初予算は本設計で計上したが、県と協議の結果、予備設計が必要と判断し補正額を計上した。



歩行者の安全が求められる定林橋

問 定林橋は今年度に設計し、来年度には工事にかかるか。聞いていた。来年度工事にかかるか。

答 令和2年度工事発注するように現在も進めている。

西高田線

問 都市計画道路西高田線の移転補償の測量設計委託料の対象は何件か。

答 戸数では6戸となっている。

問 高田踏切付近の住宅の移転交渉はどうなっているか。

答 踏切付近の用地交渉は既に終わっている。



改修予定の高田踏切

非正規職員に適正な任用・待遇を

可決
賛成13:反対2

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、来年度より臨時・非常勤の地方公務員が会計年度任用職員となり、期末手当の支給や特別休暇の付与が可能になります。

主な質疑

問 人件費はどの程度の増額か。

答 4千万円ほどと考えられる。

問 職員組合と協議するようにとの通達があると思うか。

答 条例制定にあたり、職員組合からも意見を聞いた。

反対討論

国際的な原則からも逸脱

行政コスト削減のための非正規雇用拡大の法的根拠となる。無期雇用が原則の国際ルールや、公務運営は常勤職員を中心とする原則に反する。

(河野)

賛成討論

不利益のない運用を

官民一体による同一労働同一賃金実現のための制度として期待する。被雇用者に不利益のない適正な運用を。

(八木)

可決

期末手当の支給割合を増額改正

議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の改正

町長及び副町長の給与に関する条例の改正

教育長の給与及び旅費支給並びに勤務時間等に関する条例の改正

特別職の国家公務員の給与改定に準拠するため議員と三役の期末手当総支給割合を年3・4月力分に改定しました。また、6月と12月の支給割合を均等にする平準化も行います。

主な質疑

問 議員と三役の期末手当が上がることでの影響額は幾らか。

答 議員分が全員で約134万円。三役分が約68万円である。

問 国家公務員に準拠する提案だが常に準拠しているのか。また、近隣市町の状況はどうか。

答 近年は常に準拠している。また、県内の全ての市町においても準拠している。

問 人事院勧告で下がれば、それに準じた提案が行われるのか。

答 当然、そのように考える。

問 人事院勧告では0・05カ月分の引き上げだが提案は0・25カ月分の引き上げであるのはなぜか。

答 昨年、議員分の引き上げは否決され、三役分は提案しなかった。今回その分も提案した。これで、県下足並みが揃うことになる。

全会一致
可決

高田郷の簡易水道を上水道に一本化

水道事業の設置等に関する条例など

長与町水道局は、町民に生活用水を供給する目的で、中核をなす上水道事業の他、自由が丘団地と道ノ尾温泉団地（いずれも高田郷）などに、簡易水道を設置してきました。この簡易水道事業を上水道事業に統合、一本化する条例改正が出され、全会一致で可決しました。

主な質疑

問 住民の利用、料金、手続きなどに変更が出てくるのか。

答 変更は発生しない。

簡易水道は水道普及率を向上させることが重要であった時期に、小規模集落ごとに水道施設を設置する手段として機能してきました。しかし今日、水道普及率は大きく向上したため、簡易水道の役目を終えたと判断し、2つの簡易水道を廃止し、上水道事業に統合するための条例改正が提案されたものです。



簡易水道は上水道に統合（自由が丘団地）

選挙管理委員および 補充員の当選

本会議で行った選挙の結果、
次の方々が当選されました。

○選挙管理委員（任期4年）			○補充員（任期4年）		
松添高明氏 （まなび野）	境ケイ子氏 （嬉里郷）	村山和聡氏 （岡郷）	永富雅徳氏 （三根郷）	西出和美氏 （丸田郷）	浦川末子氏 （三根郷）
井手富雄氏 （吉無田郷）	本多邦子氏 （本川内郷）				

**全会一致
可決**

地域包括支援
センターに
予算増額

介護保険特別会計補正予算 （第2号）

歳入歳出それぞれ500万2千円を追加し、総額2913万2千円となりました。

歳入は繰越金の増額によるもので、歳出は※地域包括支援センターの職員の配置転換及び人事院勧告による給与措置ならびに予備費の増額によるものです。

※地域包括支援センターとは

主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師などが中心となって、高齢者などの支援を行います。それぞれ専門分野を持っていますが、互いに連携をとりながら「チーム」として総合的に高齢者などを支えます。

令和元年第4回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	八木亮三	松林敏	西田健	浦川圭一	中村美穂	安部都	内村博法	安藤克彦	金子恵	岩永政則	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	西岡克之	山口憲一郎	
執行機関	長与町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※
	長与町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	▼	○	○	※
	町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※
	長与町教育委員会教育長の給与及び旅費支給並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	可決	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※
	長与町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町水道事業の設置等に関する条例及び長与町水道給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
長与町印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	

○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席
 ※ 議長は採決に加わらないため「※」で表示
 ■ 棄権とは、議員自らの意思により採決に参加しないこと。
 ◆ 除斥とは、議員は直接の利害関係のある事件について、その議事に参与することができないこと。（地方自治法第117条）

12人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の中継・配信

本会議の様様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

6	吉岡清彦議員	① スパイラルスライダーの安全性の確認や長与町のシンボルやランドマークについて ② 健幸増進対策について
7	西田健議員	① 長与町の防災強化について ② 長与町の交通政策について
8	岩永政則議員	① 長与皿山窯跡の保存整備について ② 長与ハザードマップと長与ニュータウン背後地の法面について
9	竹中悟議員	① 議員定数削減及び報酬について ② インフラ(公共施設含む)整備の優先順位について
10	八木亮三議員	① 本町における同性パートナーシップ制度導入について
11	浦川圭一議員	① 私道公衆用道路の管理について ② 丸田谷地域の排水路の整備について ③ 一般質問における答弁の対応について
12	内村博法議員	① 空き家及び空き地対策について ② 児童虐待防止対策について
13	金子恵議員	① 災害に強い安全安心のまちづくりについて ② 今後の財政運営について
14	堤理志議員	① 学童保育への支援について ② 粗大ごみ、拠点収集についての今後の考え方について ③ 学校選択制の変更について
15	西岡克之議員	① 本町のSDGs(持続可能な開発目標)について ② 本町の公園管理について
16	河野龍二議員	① 自治会活動・地区コミュニティ活動について ② 住宅リフォーム助成制度について
17	安部都議員	① 地方分権改革のための提案募集方式について ② パートナーシップ制度導入と教育行政について



スライダーの安全性の確認は

回答 段階的な確認を行っていく



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



大丈夫？「安全性の確認」いつ・誰がやる

■ 議員 町はスパイラルスライダーをシンボルやランドマークと考えているが、その意味は何か。また、他の自治体でのシンボルやランドマークとして宣伝しているものは何があるのか。

■ 町長 シンボルやランドマークとは、その土地を代表するもの、象徴するものと考える。また、他自治体の状況については、ホームページや観光パンフレットなどの各種媒体において、多く使用されているものと思う。

■ 議員 再開後の責任は町となるが、職員による安全確認や、入口や着地点に各1人の人員配置が必要と思うがどうか。

■ 町長 安全性については、ある一点での考えではなく、全てにおいて確認がなされるものと考えている。そのため、まずは調査設計において検証された場合と考慮しており、そのことをふまえ、段階的な確認を行っていく。

と考えられるとのことだが、職員の現在の人数は何人か。
■ 町長 中尾城公園の職員は、受付業務2人、管理業務1人の3人体制で運営を行っている。

安全性の確認は

■ 議員 9月議会の町長の答弁の中で「今後の詳細な調査において、安全に再開することが難しくなったとしても」という表現があるが、この安全については、設計、工事再開、運用再開後の事故のどれを指すのか。

撤去すべき

■ 町長 安全確認については、以前から職員が試走を行っている。職員は、以前と同様、入口に1人配置する。着地点については、今のところ考えていない。

問 病気予防1500億円
の取組は
答 健康のまち宣言などに
取り組む

■ 議員 報道によると「令和2年度政府予算案で病気予防1500億円、積極的な自治体の支援を検討」とのことだ

■ 議員 今中止すれば、損害が発生するののか。
■ 町長 発生しない。

令和2年度予算案検討
病気予防に1500億円
積極自治体に交付金を異例増額

期待される 町の独自性

が、町としてどう取り組むか。
■ 町長 健康のまち宣言などに取り組む。
■ 議員 口腔ケアに関して条例化が必要と思うがどうか。
■ 町長 条例化は考えていない。
■ 議員 エレベーターより階段を利用という考えから、役場の階段に消費カロリーを表示する考えはないか。
■ 町長 検討していきたい。
■ 議員 脈拍計の町民への貸与はどうか。
■ 町長 今のところ考えていない。



にしだ 西田 たけし 健 議員

防災強化の考えを問う

回答 あらゆる事態を想定し検討する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。



迫り来る土砂！

■ 議員 避難行動要支援者の避難支援について、現在の取組状況はどうなっているか。

■ 福祉課長 要望に沿って自治会個別の説明会を適宜開催し、各自治会において個別支援計画書の作成に着手、現在、対象の47自治会中24自治会から提出を受けている。

■ 議員 特別警戒区域についてはそれぞれ対策を検討していると思うが、例えば丸田谷地区には自宅の数十センチメートルまで土砂が迫っている場所がある。どのような対策を考えているか。

■ 産業振興課長 治山事業の活用を検討している。2月の国への要望を目標に自治会・地権者との協議を実施していく。

■ 議員 現在、ハザードマップを配布しているが、住民への周知という意味で更に内容の精度アップが必要ではないか。

■ 地域安全課長 令和2年に発行予定の洪水ハザードマップも含め内容の精度アップについて検討する。

■ 議員 災害時の停電による情報の停滞について町としてどう捉えているか。

■ 課長 防災無線は、72時間対応できるバッテリーを設置している。使用できない状況になったときは、消防団・自主防災組織などによる住民への直接的な声掛けで対応する。

■ 議員 災害時の避難場所の老朽化・キャパシティ・物資等々の備蓄状況について町としてどう捉えているか。

■ 課長 自主避難時での対

応は、現状問題ないと考えているが、大規模災害時の対応としては物資の運搬方法や経路について再確認を行うとともに、色々な方法を検討する。

問 交通政策の取組状況は

答 各種団体と協働で啓発活動を実施

■ 議員 交通事故対策として、児童の登下校時の見守りを行っている。地域安全ボランティアの担い手不足をどう捉えているか。

■ 地域安全課長 共助とい



安全第一

う観点から、コミュニティや自主防災組織・自治会等に周知発信し、担い手不足を第一の問題と捉え対策を検討する。

■ 議員 北陽台団地前の病院建設において、大型の工事車両が多く通ることが想定される。毎日約200人の児童が通学する道路であり、町としての安全対策はどうか。

■ 土木管理課長 事前に学校・警察・本町で交通安全対策を協議している。工事業者からは、学校側へ工事日程について報告済である。



町長の指導力を 皿山窯跡整備



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 教育委員会と協議し検討する

- 議員 長与皿山窯跡の保存整備は、本町の重要な政策課題である。平成20年度から用地の取得が進められ、7筆で2079平方メートルが買収されている。皿山窯跡の整備計画はどうなっているのか。
- 教育長 平成16年3月に「長与皿山窯跡保存整備基本構想」を策定し、野外博物館体験工房が計画されていた。状況変化もあり、整備計画は策定していない。
- 議員 今後必要な筆数、面積、地権者数はどうか。
- 教育長 3筆で、1197平方メートル。地権者は1人。
- 議員 用地取得の見通しはどうか。
- 教育長 交渉が整っていない。
- 議員 未買収対策については長年の懸念である。教育長、副町長一緒になって事業解決に向けて、町長の指導力を発揮してはどうか。
- 町長 教育委員会とも十分協議しながら検討していきたい。

- 議員 ニュータウンの法面樹木除去を
 - 議員 ハザードマップ作成の事務手続きはどうしたのか。
 - 町長 県がシステムを構築し、県の資料を利用して作成した。特別警戒区域は635カ所指定されている。
- ### 長与ニュータウン
- 議員 ニュータウン全体で約50戸が特別警戒区域に入っている。住宅地の人に事前に説明し、了解を得るべきではなかったのか。
 - 土木管理課長 宅地については、個人宛に通知を行った。閲覧期間をもって確認してもらった。
 - 議員 ニュータウンの背後地に水道タンクがある。これを含めた法面が特別警戒区域に指定されていない理由は何か。



樹木が繁茂 危なくないの？早期の対策を（ニュータウンの切取法面）

- 町長 一定の角度や高さなど条件があり、この条件に合致しているが、管理者が明確であり、風化防止対策が行われていることから除外されている。次回以降の警戒区域の見直しの際は対応していく。
- 議員 この法面には、樹木・草などが生い茂り、コンクリートの吹きつけ部分に割れ目が生じ、危険な状況が起きているのではないかと心配される。樹木・草を除去し、コンクリートの吹きつけなどを行うべきではないのか。
- 議員 住民の視点からは、開発時の切土法面こそ、安全なのか大変心配されている。この法面は安全なのか。
- 町長 長与ニュータウン法面維持管理協議会を設置し町に移管した。その後大きな変動はなく安定した状態にあり安全性は保たれている。
- 町長 樹木などが繁茂している状況は認識している。当初の法面施工から20年経っており、今後、随時の調査・維持管理を行いながら、時期を見極め施工方法を検討していく。
- 議員 住民の視点からは、開発時の切土法面こそ、安全なのか大変心配されている。この法面は安全なのか。



たけなか けんじ 議員

議員定数削減と報酬の考えを問う



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 慎重な対応が求められる

■ **議員** 4月の統一地方選において本町は無投票となった。全国的に政治離れにより住民の意識が選挙に対し希薄になっている。8年前の選挙においても締め切り30分前のドタバタ立候補があり、未だに住民の話題となっている。また今回も30分前の辞退届で議会のレベルの低さを指摘されている。この状態をどのように分析しているのか。

■ **町長** 残念に感じている。立候補は自由意志のもとに行われた事実と受け止めている。一方、3人の新人議員が選出されており、新体制による議会運営発展を期待している。

■ **議員** 日頃の選挙管理委員会での活動はできているのか。

■ **町長** 各種研修会での事例研究、高校生に対する選挙講話、町政の理解を深める活動をしている。

■ **議員** 過去に2回議員削減を行ったが、議会活動に影響は感じられない。有識者に

おいても1委員会6人の提言が多い。定数削減の考えはないか。

■ **町長** 議会の機能低下および運営に及ぼす影響が懸念される。慎重な対応が求められる。

■ **議員** 議員報酬については生活給と考えるか活動費と考えるか。現状の報酬で十分と考えるがどうか。

■ **町長** 活動費と考える。近年の議会活動の多様化、活動日数など報酬審議会に諮問することも必要と考える。

問 緊急避難施設が優先ではないか

答 緊急避難施設の整備計画を検討

■ **議員** 去る10月、これまでに経験したことがない台風が発生し大変な被害が報告された。この教訓からインフラ整備も大切であるが、緊急避難施設および防災対策拠点の施設が優先と考えるがどうか。

■ **町長** 指定避難所や緊急

避難場所の専用施設は無く、公共施設や大学などの施設を利用している。今後、災害対応施設を優先とした整備計画を検討していく。

■ **議員** 現状の公共施設での地区別住民受け入れ態勢は。

■ **地域安全課長** 人口41645人に対し収容人員は13329人。32・01%体制で国の基準は満たしている。

■ **議員** 図書館は自主財源で建設は可能か。

■ **政策企画課長** 現在、教育振興基金は毎年5千万円積



現在の図書館（旧役場庁舎）

み立てており、30年度末で約3億円。これ以外の財源も検討していく。

■ **議員** 図書館に対する国の補助はない。現状の図書館用地に避難施設および防災対策拠点を考慮し、無駄のない取組をする考えはないか。

■ **課長** 本町に見合ったサイズ、また効率化の観点から複合化も視野に、財政上無理のない計画を検討する。

■ **議員** 現状の財政力でクリアできるのか。

■ **町長** 合築なども含め検討する。



同性パートナーシップ制度導入を

回答 同性婚法制化の動向から判断する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



長崎市にできて長与町ではできない理由はないのに
(出典：長崎市パートナーシップ宣誓制度ガイドブック)

■ **議員** 現在、長崎市を含む全国で30の自治体が同性パートナーシップ制度を導入している。本町教育委員会作成の人権教育啓発資料には*

* 性的マイノリティが人権課題として掲載されている。本町の第9次総合計画にも「すべての人々の人権が尊重される社会を作ります」と書いてありながら、性的マイノリティのための同制度の導入は先送りしている。差別や偏見を恐れて人知れず悩みを抱えている性的マイノリティへの思いやりと理解を示し、本町の人権尊重が建前ではないこ

とを証明するために、同制度を制定すべきだと思うがどうか。
■ **町長** 性的マイノリティが悩む現状も重視した上で、同性婚法制化の動向を注視しつつ判断していく。
■ **議員** 同性パートナーシップ制度は地域社会が性的マイノリティの存在と権利を認めるということである。同制度の導入が、異性愛者に比べて自殺リスクが高いとされる性的マイノリティの児童生徒の自己肯定感を高めることにつながると思わないか。
■ **教育長** 町内の児童生徒

への実態調査などをしていないので何とも言えない。

■ **議員** 福岡市と熊本市も同性パートナーシップ制度を導入しており、両市間で転居してもその証明書が有効となる協定を結んでいる。福岡・熊本は本町からの転出先の上位でもあるので、この協定に参加できればU・ターン促進や人口流出対策になるのではないか。
■ **政策企画課長** 人権問題を移住・定住政策としては考えていない。

■ **議員** 第9次総合計画に書かれているとおり、本町が本当に「すべての人々」の人権を尊重するのならば、同性婚の法制化を待つことなく、積極的に性的マイノリティの人権を尊重して同性パートナーシップ制度を導入すべきである。何をそれほどためらう必要があるのか。導入することでは何かデメリットがあるのか。

■ **企画財政部長** 総合計画策定は10年前で当時はまだL

GBTなどは想定できなかった。住民を交えた議論の上で方向性を決めていく必要がある。

■ **議員** 当時は想定していません。現在では性的マイノリティの存在と人権は国連も認め、世界的な常識となっている。それでも同性パートナーシップ制度導入にまだ議論が必要なのか。
■ **部長** 現在の生活は男女間の婚姻が基本になって成り立っている。一定の時間をかけ判断する必要がある。

※ **パートナーシップ制度**
自治体が、主に同性のカップルに対して二人の関係が夫婦と同等であると認める制度。

※ **性的マイノリティ**
同性が好きなお人や自分の性別に違和感を持つ人、性同一性障害の人など。LGBTは狭義での性的マイノリティの総称。



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

私道管理は誰がするのか

回答 町管理も含め今後研究検討する



浦川 圭一 議員

■ 議員 私道の管理に町はどのように関わっているのか。

■ 町長 基本的に、所有者もしくは利用者にて管理していただく。

■ 議員 長崎市青山町の私道通行止めトラブルの経過を見て、現状の運用でいいのかと思ひ質問した。道路の公共性も高く、私道に隣接する宅地も、公道に面した宅地同様に課税していることを考えれば、町管理における道路の補修、整備などの公共サービスを受けてよいのではないかと考えているがどうか。

■ 建設産業部長 今後、研究しながら検討していく。



補修がされないままの私道の路面状況

問 丸田谷地域の排水路の整備は

答 必要と考えるが今後研究する

■ 議員 雨水が道路側溝および字図上水路が存在していない部分に排水されていると思うが実態はどうか。

■ 町長 水路が民有地より始まり、町所有の公園用地を経由し再び民有地に入っている状況であった。

■ 議員 この際、排水路の整備計画を立てて整備をすべきと思うがどうか。

■ 建設産業部長 整備は必要と考えるが、どういう水路が良いのか、今後研究して検

討していく。

問 結論を持ち越した答弁の回答を

答 公表できるように考えていく

■ 議員 一般質問に対する答弁において「検討する」「関係機関と協議していく」など、結論を持ち越すような回答をする場合がある。その後の検討結果、協議の顛末などについて、何らかの方法で示すべきではないか。

■ 町長 検討する旨の答弁を行った事項については、「長与町議会答弁事項の対応状況報告実施要項」に基づき報告している。引き続き、要綱にのっとった運用を続けていきたいと考えている。

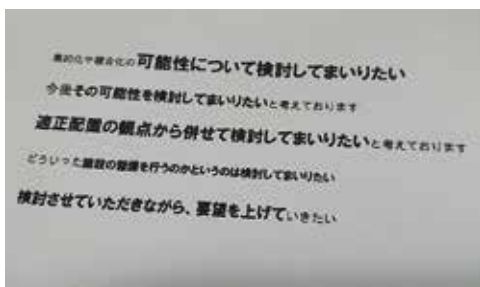
■ 議員 要綱があることは承知しているが、その手続きは、回答を求める議員の側から改めて催促する形で議長を通じて行うこととなっている。回答についても議長を通じて議員に文書で行うこととなっているが、そのような無

駄な時間を使うことなく、答えるべきは回答を保留している町の方にある。結果が出れば何らかの方法で速やかに公表してもらいたいがどうか。

■ 総務課長 なかには、窓口で訊ねてもらえば回答することもある。

■ 議員 あくまでも、議場で質問したことの答弁であり、なかには興味を持って聞いている人もいると思う。そういう人も見ることができ形、例えば、町のホームページなどで公表できないか。

■ 総務部長 他自治体も研究して公表できるような形で考えていきたい。



「検討」を使用した答弁の例



空き家対策を急げ



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 他市町の対策を研究し検討したい

- 議員 本町の空き家の総数と特定空き家の数はどのようになっているか。
- 町長 平成29年の空き家住宅等実態把握調査結果では、空き家である可能性が高い家は254棟である。その中で、そのまま放置すれば倒壊する状態、衛生上有害となる恐れのある状態、著しく景観を損なっている状態、その他放置することが不適切である状態があると認められる特定空き家となる可能性が高い家は17棟である。
- 議員 空き家に関する住民の苦情はどのようなものがあったのか。
- 町長 隣接地への樹木の越境の苦情が最も多くあった。
- 議員 空き家特措法では、国の基本方針に則した空き家対策を策定することになっているが、本町では現在策定されていない。対策を急ぐ必要があるのではないか。
- 町長 今後、増加する可能性も踏まえ、他市町における

- る対策を研究し検討したい。
 - 議員 移住・定住の促進などを目的に多くの自治体で空き家バンクを設けているが、本町で取り組む考えはないか。
 - 町長 状況としては居住可能で程度がよいものが多い、今後民間事業者が手がける可能性も高いと考えられる。現時点では、空き家バンクを設置する予定はない。
- 問** 本町の児童虐待相談件数は

答 平成30年度は81件である
- 議員 長崎県の児童相談所における平成30年度の児童虐待相談件数は898件である。本町の状況はどうか。
 - 町長 81件である。
 - 議員 本町の児童虐待防止に関する体制はどのようになっているか。また、今後の体制の強化や見直しの計画はないのか。
 - 町長 本町では、平成28年度に子育て世代包括支援セ



児童虐待かと思ったらすぐにお電話ください。

189 児童虐待から子どもを守ろう。

児童虐待から子どもを守ろう。
(出典 厚生労働省ホームページ)

- ンターを、平成29年度には子ども家庭総合支援拠点をそれぞれいち早く整備し、虐待に関する相談対応から虐待予防に係る各種事業を行っている。係員全員が虐待相談に対応できるようスキルアップに努めており、計画的に児童福祉司任用資格の取得者を増やしながら、相談体制の強化に努めている。
- 議員 児童相談所や警察などの他機関との連携はどのように行っているか。
- 町長 町が設置する要保護児童対策地域協議会は、代表者会議、実務者会議、個別

ケース検討会議の3層構造としており、児童相談所、福祉事務所、保健所、警察、医師会ほか、子どもに関わる支援機関などに参画してもらっている。



かねこ 恵 議員

国土強靱化計画の策定を進めよ



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 令和2年5月には策定を終えたい



防災施設との複合化など補助金で 早期建設を

- 議員 各地で起こる災害を対岸の火事と捉えることなく住民の安全安心を確実なものにしていく責任がある。防災・減災対策の基本的考えは何か。
- 町長 大規模災害時の公助の限界が考えられる。自助・共助の重要性を踏まえ、地域における防災活動を推進することが不可欠と考える。
- 議員 避難行動要支援者支援制度において、同意を得られない人の名簿提供はどうするのか。
- 福祉課長 大規模災害時には消防、警察、自衛隊などに提供できる。

■ 議員 聴覚、視覚障害者の避難支援はどのようになるのか。

■ 課長 同意者は避難担当者で支援する。不同意者については、まず同意をしてもらうことを進める。

国土強靱化計画

■ 議員 国土強靱化地域計画を策定することで、国から補助金が交付される。対象が多岐にわたるが進めていくべきと考える。今後の予定はどうか。

■ 地域安全課長 令和2年5月には策定を終えたいと考える。

補助金を活用せよ

■ 議員 この補助金を活用し、図書館と防災拠点の複合施設を建設するための補助金申請ができるのではないかと。

■ 課長 図書館との併設で補助金が確保できるのであれば、準備段階でもあることから、詳しく調べ対応していきたい。

問 次年度にどうつなげる決算評価

答 評価後 方向性など決定し反映

■ 議員 町税収入の安定的確保を図るため、法人町民税の増収に向け、企業誘致に力を入れていくべきではないかと。

■ 企画財政部理事 積極的に関係団体と連携をとっていく必要があると考える。

■ 議員 普通交付税は人口減少に伴い、算定に用いる^{*}基準財政需要額が減ることで減少する。今後の見通しはどうか。

■ 理事 交付税を維持するため、引き続き、行政運営の効率化に努め、人口減少の抑制のための政策を打ち出すことが重要と考える。

■ 議員 第4次長与町行政改革大綱実施計画により、平成28年度から補助金削減を行ってきたが成果をどう考えるのか。

■ 理事 役割分担などの整理を含めた見直しが必要であり、一定の時間を要するものと考えている。見直しへの意

識は定着してきた。

■ 議員 公共施設等総合管理計画の財政的位置づけはどうか。

■ 理事 改修・更新には多額の費用が生じることから補助金、有利な起債、基金の活用についても調査、研究し平準化に努める。

■ 議員 30年度決算の評価を次年度予算にどうつなげるのか。

■ 理事 妥当性、有効性、効率性の視点から評価を行い、今後の方向性などを決定し反映させていく。



行政改革を継続することで無駄のない住みやすい長与町に！

※基準財政需要額

各自治体が行う一定水準の行政サービスのために必要な「財政需要」を、人口や面積など共通の尺度を基に算出した額のこと。



つとむ さとし 議員

粗大ごみ 資源の収集方法見直しは



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 自治会と高齢者負担を軽減したい

■ 議員 粗大ごみの収集、ならびに資源の拠点回収方法について、町は見直し検討を進めていると聞いた。議会としても自治会や住民の考えを把握し注視する必要があるが、町が見直す考えに至った理由は何か。

■ 町長 粗大ごみについては、

- ① 排出量に応じた負担、公平性の確保
- ② 不法投棄や産業廃棄物の排出および町外からの違反搬入の防止



考えよう 排出困難者にもやさしい環境行政

- ③ 金属片やガラス片など危険物発生の未然防止
 - ④ 自治会役員の負担、作業中のけがの解消
- 以上4点の改善のため検討を進めていきたい。
- 資源化物拠点回収については、

- ① 高齢者、生活弱者などの排出困難者へ配慮した改善策
- ② 少しでも出しやすいステーション回収の必要性
- ③ 自治会役員の負担の軽減などを図ることである。今後、課題を整理し、自治会長会や

住民の意見を聞きながら十分な周知期間を経て移行することが必要と考える。

問 どうなる
児童保育支援員態勢

答 現行基準は維持したい

■ 議員 国における児童保育支援員の配置基準見直しに関連し、町内の児童保育関係団体から、児童の安全を守るため現行の配置基準を維持することや、体制が整うまでの間、支援員の要件を弾力的に運用してほしい旨の要望が伝えられていると思うが、町はどのように臨む方針か。

■ 町長 現行の配置基準は緩和せず、要件の弾力的運用についても継続したい。なお、認定資格研修を修了していないいわゆる「みなし支援員」の経過措置期間を延長する必要がある、条例改正議案を令和2年3月議会に上程する予定である。

問 どう見直す
学校選択制

答 令和8年に選択制を廃止する

■ 議員 学校選択制の見直しを検討するようだが、その理由と検討方法はどうか。

■ 教育長 保護者から「入学時に学校を選択した判断が正しかったのかの思いにかけられる」や「同じ自治会内で小学校が異なるため、子ども会の運営が困難」との声があっている。これらの意見から、選択制廃止について通学区域検討委員会に諮問し、当委員会から廃止すべきとの答申を得た。その後、7月の定例教育委員会において、令和8年度から選択制の廃止を決定した。

今後、通学区域の検討が必要だが、通学区域検討委員会を中心に、PTA、自治会、コミュニティへ説明を行うとともに、意見を聞きながら検討していく。



本町のSDGsの反映は

回答 理念を踏まえ各種計画に反映



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

■ 議員 2015年、国連加盟193カ国が持続可能な社会の構築を目指し、17の項目と169のターゲットを実現するために※持続可能な開発目標（SDGs）を決議した。わが国においても安倍首相が本部長となり、全閣僚を交えて第1回「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部

会」が行われ、日本における目標、指針が決定された。さらに首相は、その場において経済、社会環境分野の8つの優先課題と、140の施策を盛り込んだ。首相自ら宣言をしたことは意味がある。そこで、本町ではSDGsにどのような取り組みでいくのか、また本町にある様々な既存の



本町でも持続可能な開発目標を

計画と、どのように整合性を図るのか。

■ 町長 この計画は国が実施方針を策定し、政府主導で民間企業、NPO、地方自治体がそれぞれの役割と連携により目標達成に向け推進することになる。本町でもこれまでに計画推進、実施に向け目標に資する取組をしてきた。今後とも目標を意識しながら国が目指す目標達成に貢献していく。また、各種計画策定の際には理念を踏まえ、反映し整合性を図っていく。

問 公園遊具は安全か

答 全て点検済みで安全に使える

■ 議員 本町の公園遊具は一時期、遊具の周りをバリケードで囲い使用を停止していたが、現在では大部分がバリケードを解除しているようだ。安全性が確認された、現在使用可能な遊具の数はいくつか。

■ 町長 町内の公園にある

遊具について専門的な安全点検を行った結果、平成29、30年度中に113の遊具にバリケードを設置し、使用に好ましくない遊具や、安全性が担保できない遊具は撤去した。30年度末には大型複合遊具3基を除く全てについて対応済みである。残る大型複合遊具3基は現在施工中であり、今年度中には利用が再開できると考える。昨年度策定した「長与町公園施設長寿命化計画」にのっとり、今年度からの10年間で93の遊具、4つのトイレなどの公園施設についても、使用しながら改修更新を予定している。

■ 議員 新設公園や、既存公園の遊具設置について、各自治会の要望は受け入れるか。

■ 土木管理課長 安全性などを精査して、考慮する。

※持続可能な開発目標 (SDGs)

2016年から2030年までにわたる、持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成される国際目標。



かわの 河野 たつじ 龍一 議員

自治会配布物の負担軽減を

回答 負担が増えないよう対処したい



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



コミュニティ活動に十分な支援を

■ 議員 自治会加入世帯の減少をどう考えているのか。

■ 町長 加入促進対策を行っている。防災や防犯においても重要な役割があるので、今後も啓発活動、加入促進活動を継続的にやりたい。

■ 議員 自治会活動の配布物の負担を減らすようできないか。

■ 町長 様々な行事の開催日を合わせることで、配布物などの負担が増えないよう対処していきたい。

■ 議員 全戸配布の配布物を町が業者などに委託して、配布できないか。

■ 地域安全課長 全戸配布は1000万円ほどの費用が掛かるので難しい。

■ 議員 自治会長報償費を1300万円ほど支出している。この費用を活用するなど検討できないか。

■ 地域安全課長 自治会長報償費は配布物だけでなく、様々な活動の報償なので、今後も支給していきたい。

■ 議員 東京都立川市では、自治会員に「絆カード」を配布し自治会加入者は地元商店からサービスの提供がある。本町も自治会員としてのメリットを検討すべきではないか。

■ 町長 自治会加入促進対策として協議していきたい。

■ 議員 地区コミュニティの役割をどう考えているのか。

■ 町長 自治会単位で解決が難しい課題解決などの役割や、町づくりには地域の特長性

を生かし環境、福祉、文化の向上の推進など様々な役割を担っていると思う。

■ 議員 地区コミュニティからはどのような課題が寄せられているのか。

■ 地域安全課長 役員の担い手不足や、活動費などの懸念などが寄せられている。

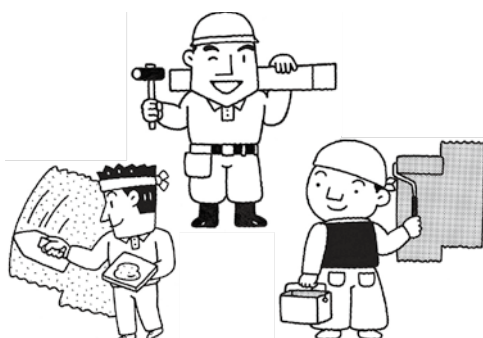
■ 議員 財政的な支援を増やす考えはないのか。

■ 町長 各組織に90万円の補助をしているが、有効的な財政支援ができるよう、検討していきたい。

問 住宅リフォーム助成制度の復活を

答 前向きに検討したい

■ 議員 本町は住宅リフォーム助成制度を平成24年、25年と実施し24年度は500万円の予算に対し、工事総額が約7800万円。25年度は1000万円の予算に対し、工事総額は約1億5000万円。14倍から15倍の経済効果がある。町民からも復活を望



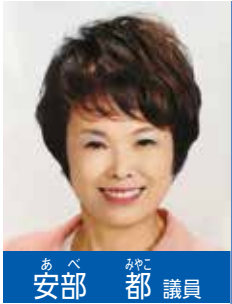
リフォーム助成制度の復活を

む声がある。復活できないか。

■ 町長 現在行っている施策や他市町も参考にし、研究したい。

■ 議員 消費税増税で消費が低迷する中、これほど消費を促す経済効果がある事業はない。研究とは実施をする方向で研究するのか。

■ 建設産業部長 前向きに検討する。



重度障害児の環境改善の提案を

都合により動画をアップロードしていません。

回答 実態調査を現在行っている

■ **議員** ※提案募集方式についての考えと今後の取組についてはどうか。

■ **町長** 提案募集方式については、地域ごとに抱える様々な課題を解決できるとともに、行政サービスの向上に寄与することができると考えている。取組については、積極的に活用し行政サービスの向上に努めていきたい。

■ **議員** 医療的ケアを必要とする重度障害児の環境改善の制度の提案募集についてはどうか。

■ **町長** 訪問看護の適応範囲の拡大や保育士の対応可能範囲の拡大に関する提案等が出されている。現在、新たな



提案募集方式を活用して実現させよう！
(出典 内閣府ホームページ)

問 パートナーシップ制度の導入を法制化の動向を注視し判断

法整備が必要な相談などを受けていない。国の指針に従い保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図り「こども在宅医療サポートブック」を作成した。在宅の医療的ケア児の療養状況や障害福祉サービスへのニーズを把握するため実態調査を現在行っており、支援施策を検討するための基礎資料とする予定だ。制度の提案が必要と判断した時には、国へ提案していきたい。

■ **議員** パートナーシップ制度の導入と教育行政についての考えはどうか。

■ **教育長** 全国的にパートナーシップ制度の導入自治体が増える一方で、国において同性婚を可能とするための民法改正案が提出されるなど、法制化に向けた動きも進展している。導入については、法制化の動向を注視し判断していきたいと考える。

■ **議員** 男女混合名簿の導入についての考えはどうか。

■ **教育長** 現在、町立の小中学校では、男女別名簿を使用している。学校の校務を進めていく上でのシステム上の区別である。中学校から高等学校等への進学に係る進路事務においては、男女別名簿を作成する必要がある。身体測定等においても、男女別名簿を使用する必要があるため、システム上の区別として男女別名簿を今後も使用する予定である。

■ **議員** 学校制服と制服の選択制についてどう考えているか。

■ **教育長** 制服には、学校の連帯感や規律を持つための機能、愛校心や伝統を大切にすることを育む機能や私服を購入する心を経費と時間を節約できる機能などがあると捉えている。今後も制服を維持する考えである。選択制については、複数を購入する経費が掛かることが予測される。義務教育段階では、家計の負担となることはできるだけ避けることが良いと判断する。現段階では、制服選択制導入は検討はしていない。



早く女子もスラックスを選択出来たら良いな～

※提案募集方式
地域が直面する身近な課題を国に提案し、課題解決するための仕組み。

住民の声を取り入れる取組を調査

委員長 金子 恵

○調査期日

10月15日～17日

○調査場所

愛知県岩倉市議会
愛知県瀬戸市議会
三重県四日市市議会

○調査目的

議会サポーター制度について
市民参加の取組について
議会と学生の連携について

○調査を終えて

岩倉市、四日市市、両議会では、議会全体（運営）に目を向けた住民の声を聞くための議会サポーターとしての取組を調査しました。サポーターを決める際の公募の仕方、運用方法、謝礼の件など参考になりました。しかし、募集してもなり手不足は課題のようでした。本町議会には広報モニターを設置しておりますが、継続していくためにも様々な仕組みを明確にし、モニターの皆さんが参加しやすい取組を考えていくべきと感じています。

また、岩倉市議会では予算案に



関し、事前に議会報告会の中で説明し、住民の意見、提言を反映するという方法を取っており、参考になる取組だと思いました。

瀬戸市議会で伺った学生との連携は、マッチングが課題ですが、将来を担う若者の意見を反映できるものであり、大学のある本町において何らかの取組を考えていきたいと思いました。

自治会活動・自主防災組織の支援、移住定住対策について調査

委員長 河野 龍一

○調査期日

11月13日～15日

○調査場所

東京都立川市
山梨県笛吹市
埼玉県三郷市

○調査目的

自治会応援条例
移住定住対策
自主防災組織の取組

○調査を終えて

立川市では自治会応援条例を制定し、自治会会員に「絆カード」を配布、地元商店からサービスの提供がある取組を実施していました。不動産業界との加入促進の協力も進めてました。

笛吹市では、移住定住担当職員を配置し、移住相談会の開催など積極的なPR活動が行われていました。

移住定住の促進事業で、子育て世代住宅取得補助金を、住宅ローン1千万円以上の取得に対し新築で30万円、中古で25万円の補助を行い好評と説明がありました。



三郷市では、連絡協議会が単位の自主防災組織では取組が困難な事業に、連絡協議会として取り組む事で課題が解消され、活動の幅が広がっていました。またリーダー育成事業で独自の研修講座を開催し、多くのリーダーを作り出していました。

正規の調査報告書は全委員が提出しています。議会事務局または議会ホームページで閲覧できます。

第7回 長与町

議会報告会を開催しました!!

10月25・26日に町内5カ所で議会報告会を開催しました。今回の議会報告会では、9月議会の審議内容や、現在、町で行われている事業の進捗状況などを直接、住民の皆様様に報告し、質疑応答や意見交換を行いました。この機会に得た意見・要望は、今後の議会活動の参考にさせていただきます。



満永から先に行くバスの少なかとけど、免許返納した後が心配。

分かりづらかけん、タンタン岩に登る道標ば設置してもらえんやろか。

洗切小学校の通学路、どげんかならんとやろか。

文化財の保管はどうなると？新図書館に展示スペースのできんとやろか。

北部多目的研修集会施設や北小学校は避難所として大丈夫かと？

避難した時、おむつ替えや授乳ができるようにしてほしいです。

嬉里中央地区は高台に避難所のなかけど、どこに行けばよかと？

街灯に水の溜まっとるけど危なかよ。

今回の参加者は23人でした。来年度開催時は、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開かれた議会への新たな一歩

長与町議会 50周年記念議場コンサート 盛況のうちに終了

11月16日「開かれた議会を目指して」と題して、長与町議会初となる議場コンサートを開催しました。

平和コンサートでもおなじみのバイオリニスト・中西弾さん他、長与町にゆかりのある3組の演奏に、約60名の住民の皆さんも喜んでくださり「議会が近くなった気がした」「傍聴にも来てみたい」という嬉しい声も寄せられました。



住民の声を聞く!!

学童保育連絡協議会と懇談会を 開催しました

10月29日、役場会議室において、学童保育連絡協議会との住民懇談会を開催しました。

(団体からの主な懇談趣旨)

国が定めてきた学童保育職員の配置は、最低2人、うち1人は専門知識を有する支援員とされていたが、省令変更により「従うべき基準」が「参酌すべき基準」となった。町に対しては、現行基準の維持と経過措置期間の延長希望を申し入れしているが、議会議員も参考にしてほしい。

そのほか、在籍児童と登録児童の数の差異、児童1人当たりの基準面積、児童が体調を崩した時の対応など、様々な意見交換が行われ、有意義な懇談会となりました。

住民懇談会とは？

概ね10人以上のグループから懇談会開催の申込みがあった場合、所定の手続きを経て開催します。詳しくは長与町議会ホームページをご覧ください。

傍聴席から

12月議会の傍聴者は
延べ **47人** でした

皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。
たくさんのご意見ありがとうございました。

町議会の様子は、YouTubeでは視聴したことがあるのですが、実際にその場にいると、緊張感・迫力が伝わってきて良いですね。
国ではない、自治体だからこそ、フットワークを軽く、住みやすいサービスを施行できるよう、議会と行政ががんばってほしいです。
(40代 女性)

議員の質問に対して、検討するという回答が多い。検討するのは良いが、検討だけに終わって、そのままになっているモノが多いのでは。議員も、質問した事項については、どうなったか追跡・追及を望む。
(年齢性別未記入)



次の定例会は **3月3日(火)** 開会の予定です。傍聴をお待ちしています。

議長交際費	令和元年9月1日から12月31日までの総額と件数
寸志・慶祝など	150,000円(18件)
香典・生花スタンド等	25,080円(2件)
視察お土産代	21,090円(2件)
その他(見舞金・負担金など)	10,768円(1件)
支出合計	206,938円(23件)

議会情報を発信中！コメントをお待ちしております。

いいね！をよろしくお願いします。

現在 **424名** (12月末)

facebook <https://www.facebook.com/nagayochogikai>

NO!

政治家は選挙区内の人々に税金や祝品、あいさつ状などを出すことは禁止されています(答礼のための自筆のものを除く)

表紙の写真

齊藤郷、長与川沿いに位置する岩淵神社は、1638年に建立されました。知恵の神様、夜尿症予防の神様がおられるとか。

お正月には、住民の方々が初詣に訪れる隠れたパワースポットです。

編集後記

謹んで新春の
お喜びを申し上げます
平成から令和となった昨
年は、台風などの自然災害
が多い年でもありました。
毎年のように話題となる異
常気象に対し、防災意識の
向上が求められています。
町民一人一人の防災の知識
の向上や防災グッズなどの
物理的な備えによって、災
害に強い町づくりが実現で
きるよう、議会としても頑
張っていききたいと思いま
す。

最後に、本年が皆様にと
って素晴らしい年になる
ことをお祈り申し上げます。

(松林 敏)

**議会広報広聴
常任委員会**

委員長	金子 恵
副委員長	堀 理志
委員	八木 亮三
	松林 敏
	西田 健
	安部 都
	安藤 克彦
	吉岡 清彦